

中国の生活や言葉学ぶ

市中央公民館
世界の文化講座

子ども教室、調理も

茅野

茅野市中央公民館は26、28の二日、「世界の文化講座」を同館で



「世界の文化講座」でチャーハンを作る子どもたち

開いた。中国ハルビン市出身の小泉岩翠さん、諏訪市豊田君を講師に、中国の生活や言葉を学びながらチャーハンを調理して味わった。

本は安全。皆さんは良い国に生まれてよかった」と伝えられた。参加した子どもたちからは「中国は辛い料理が多いですか」「中国の子どもは塾や習い事に行きますか」などの質問があった。

続いてチャーハンの調理実習。具材は卵、ハム、ミックスペジタブル、味付けは鶏がらスープの素、昆布カツオだしなど、身近な材料を使った家庭で子どもも作りやすいレシピ。小泉さんが調理する手本を見た後、3班に分かれて実習に取り組んだ。

28日は小学生7人が参加した。小泉さんは中国の学校生活や子どもたちの暮らし、日本と中国の違いなどを説明。「日本

つた卵スープなどともに試食した。宮川小学校2年の伊藤あかりさん(8)は「混ぜるのが重くて大変だった。家でも作って家族に食べてもらいたい」と話していた。

継続して実習に取り組んだ。子どもたちはハムや野菜、卵を順番に炒め、ご飯を加えてさらに炒めた。小泉さんの助言を受け、木べらでフライパンの底からひっくり返すようにかき混ぜ、食欲をそそる香りを漂わせた。出来上がりは小泉さんが作